これまでの区政会議グループ討議でのご意見

参考資料３

1｜つながり・受容（異和共生／共助）

大正区の強み

**ちょうどいい距離で、
誰もが居場所を持てるまち**

【意見】
・義理人情・思いやりが根づき、静かだが“熱い”人が多い
・子どもに温かく、地域で子育てを支える文化
・高齢者・障がい者・外国人・転入者も受け入れられやすい
・「やりたい人」と「受け入れる人」のマッチングが起きやすい

未来のファンはどんな人？

ちょうどいい距離の“人好き”・地域に混ざれる人

・人との交流や助け合いが好きで、地域行事や日常のあいさつや見守りに心地よさを感じる層
・子ども～高齢者までコミュニケーションがある雰囲気に魅力を感じ、転入でも「混ざりやすい」ことを価値と捉える人

ファンを増やすアイデア

・地域を超えてイベント等に参加し、他地域の人とも横につながる
・多世代が交わるイベントで世代をつなぎ、地域とのつながりを強める
・祭り等を通じて地域のつながりをつくる（大人も楽しめる内容も検討）
・「楽しかった」で終わらせず、イベント後の関わり（継続の仕組み）につなげる
・地域の良さを体感し、伝え、行動する（参加者を増やす）
・あいさつを促進し、元気発信・応援し合う空気感をつくる
・「見守られている」という安心感が地域の魅力になる
・住民・団体・企業・行政等が連携し、防災訓練やイベント等を通じて交流機会を増やす。
・既存イベントの参加者層を広げる工夫
・「知らない人は知らない／興味がなければ参加しない」課題への参加しやすい環境づくり
・地域対抗のスポーツ大会など、地域で盛り上がれる企画
・外国人とのつながりをどう作るか（多文化共生）

2｜安心・日常品質の高さ
（治安／防災／医療／暮らしやすさ）

大正区の強み

安心が日常にある、
都心近くの穏やかなまち

【意見】
・治安が良く、住むとイメージが変わる“実感の安心”
・防災意識が高く、地域の共助とも相性が良い
・医療・救急など生活の安心基盤がある
・坂が少なく移動しやすい／都心アクセスも良く便利
・公園やスポーツ施設が充実し、穏やかに暮らせる

未来のファンはどんな人？

穏やかに暮らしたい子育て・健康志向
ファミリー層

・にぎやかさよりも、「家族が毎日安全で健康的に暮らせる」ことを重視しつつ、便利さも譲れない層
・少人数の学校で目が届く、地域が子育てに温かいといった“生活実感としての安心”に惹かれる人（子育て世帯＋見守りたい高齢者も含む）

ファンを増やすアイデア

・子育て世代・子どもを地域で見守る雰囲気をつくる
・予防意識を高め、安心につながる行動を増やす
・「不安のない場所」等を整理し、マップ化などで共有
・ごみ拾い、清掃など、きれいな街づくりを自分たちで実践する
・きれいな街、安心な街、楽しい街といった魅力を集め、発信する

・健康イベントを複数地域で実施（健康づくりの取組を継続）
・地球環境にやさしい取組を、人と人のつながりや防災意識向上にもつなげる
・企業、地域、学校、行政が連携した防災訓練
（平日中の実施検討など）
・子どもの頃から防災を学ぶ機会づくり（小学生向け防災教室等）
・ふだんから優しく声をかける／気配りを心がけ、見守っている安心感を伝える

3｜風景資産・物語（水辺／空／昭和景観／歴史文化）

大正区の強み

空と水辺と昭和が、毎日にあるまち

【意見】
・橋からの景色、空の広さ、朝日・夕焼け、汽笛など“体感できる風景”
・海や川、渡船など水辺の移動文化と景観が残る
・昭和の街並み・下町らしさ＝「都会の中のいなか」
・産業の発祥、第九につながる歴史、沖縄文化などの歴史資源や地域イベントが多い

未来のファンはどんな人？

水辺・空・レトロにときめく“まち歩き／写真／文化”層

・渡船や橋の景色、空の広さ、昭和の街並みなど「体感できる風景」を目的に訪れ、好きになる人
・歴史、沖縄文化、まちあるき、写真、ローカル・レトロが好きで、“語れる物語が多いまち”を推したくなる層

ファンを増やすアイデア

・大正区出身の著名人による講演・トークショー等で関心を高める
・地域活性の取組でマップを活用し、QR等で案内・情報提供につなげる
・公園整備など、環境整備に関する取組
・UR団地、公園、空き家、廃校等の土地・施設を活用した取組
・空きスペースを活用して、世代間交流のきっかけともなる農園などを実践する。
・大正区産の名物（食べもの等）づくり、地産地消につながる拠点（作る場所）の検討

4｜ものづくり・挑戦（産業基盤／外部接続／関係人口）

大正区の強み

**つくる力で、挑戦が回り、
また帰ってこれるまち**

【意見】
・ものづくりのプロと産業基盤／企業と区民の距離が近い
・若い意見ウェルカム、実験・チャレンジ・再挑戦を受け入れやすい
・都心アクセスの良さ、ドーム近接など“外とつながる強み”
・出ても戻ってくる人が多い

未来のファンはどんな人？

**もう一度やりたいを応援してほしい
“再チャレンジ”層**

・再チャレンジしたい人、地域で小さく始めたい人、若い意見を歓迎する空気に魅力を感じる層
・いったん外へ出ても戻ってきたい（Uターン）人、通いながら関わる人など「出入りできる」「外とつながる」強みでファンになる人

ファンを増やすアイデア

・若者が地域へ帰ってくる仕組みづくり
・「発明クラブ」など、子どもたちがものづくりに触れられる楽しい機会を増やして、未来の大正区ファンにつなげる。
・防災会議への出席等を通じ、住民と企業をつなげる
・避難所体験リーダー講習会の参加・共有を通じ、災害時に何ができるか等の具体化
・中小企業の魅力発信を継続する
・企業も巻き込んで若者等へ地域の魅力を伝える
・事業（例：大正・港・西淀川関連の取組等）を通じた子どもたちへの魅力発信、将来のファンづくり（継続発展）
・大正区の現状も踏まえて違いや課題を洗い出す
・他区の区政会議の傍聴等を通じた事例収集
・他地域の良い事例を大正区に取り入れ、移りやすい形に調整して実装
・チラシを様々な場所へ届けるなど、周知を強化
・区民が何に興味を持ち、どうすれば足を運ぶか調査する
・住んでいる地域にある良い店をもっと知ってもらって、そこで買い物や飲食をしてもらう。